

# 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 研究課題名

当院における低尿酸血症の臨床的意義と地区特異性の比較検討

## 2. 研究の対象患者

旭中央病院予防医学研究センターを受診した患者さんおよび当院受診者を対象にする。なお臨床データを収集不可の対象は除外する。

### 1. 選択基準

1) 旭中央病院予防医学研究センターおよび当院受診した患者さん

2) 性別不問

3) 年齢不問

### 2. 除外基準

1) 腎機能障害をもつ患者さん

2) その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

## 3. 研究の対象期間

2003年1月1日～2022年12月31日

## 4. 研究の概要

高尿酸血症は血清尿酸値が7.0mg/dlを超えるものと定義されており、有病率は成人男性で約20%、30歳以降では約30%と推定されている。一方低尿酸血症は近年原因遺伝子が同定されてきており、2002年には尿酸の再吸収に関わるトランスポーター、urate transporter1 (URAT1) (SLC2A12)が同定されこの分子機能の低下により低尿酸血症が引き起こされることが明らかになった。また最近全ゲノム関連解析、Genome-Wide Association Analysis (GWAS)により血清尿酸値と関連を示す検討がなされ、グルコーストランスポーターのファミリーとして同定されたglucose transporter9 (GLUT9/URATV1)がURAT1と同様に腎性低尿酸血症の原因遺伝子であることが明らかになった。また尿酸代謝において抗がん剤輸送ポンプで抗がん剤耐性に関与することが知られていたATP-binding cassette, subfamily G, member2 (ABCG2)が機能低下により高尿酸血症を呈することが分かってきた。低尿酸血症の診断基準では一般的には2mg/dl以下であり遺伝性低尿酸血症では運動負荷後の腎不全や尿路結石がいわれており、特に前者では低尿酸血症は約50%といわれている。また最近の報告では、血清尿酸値と死亡率の報告がありU字型で高値でも低値でも心血管死亡や総死亡の上昇の報告がある。また高尿酸血症は、その抗酸化作用でのアルツハイマー病やパーキンソン病への予防効果への期待の報告もある。また当院での低尿酸血症のpreliminaryの調査では2mg/dl以下の対象はドック受診者で約15名、病院全体では3000名くらい存在すると推定される。今回以上の背景より当院の予防医学研究センターや当院受診者のなかで低尿酸血症者の臨床症状や合併症などを後ろ向きにデータを集積し、当院地区における生命予後が疾患との関連を明らかにし、また疾患予防につなげることができるかを探索する研究を計画した。

## 5. 研究実施予定期間

2023年11月22日～2025年3月31日

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、飲酒歴、喫煙歴

〔血液学的検査〕：RBC、Hb、WBC、Neu(%)、Lym(%)

〔血液生化学的検査〕：血糖値、HbA1c、LDL-C、HDL-C、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、シスタチンC

## 7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者（又は代諾者）個々には開示しない。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 予防医学センター 橋本尚武

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)